

鳥獣侵入防止柵を定期的に点検しましょう！

有害鳥獣から大切な農地を守る侵入防止柵。この柵の効果を十分に発揮させるため、以下の点に注意しながら、定期的な点検活動を行いましょう。

ワイヤーメッシュ柵の点検ポイント

イノシシやシカは柵の下部から潜り込もうとしますので、柵の下部対策が重要です。

- ワイヤーメッシュと地面の間に隙間ができていないか。
(対策) ワイヤーメッシュを強く踏み込む、アンカーを打ち込む、隙間部分にワイヤーメッシュの端材を敷くなどして、隙間を塞ぐ。
- ワイヤーメッシュに折れ曲がった箇所や破損箇所はないか。
(対策) 当該箇所のワイヤーメッシュを交換する、破損した部分に端材を重ねて設置する。
- ワイヤーメッシュと支柱を固定する鉄線が外れていないか。
(対策) 鉄線が外れている箇所は、再度、鉄線で固定する。
- 柵周辺の草が伸びていないか。
(対策) 野生鳥獣の隠れ場所をなくすため、草刈りを行う。

金網柵の点検ポイント

- 金網柵と地面の間に隙間ができていないか。
(対策) アンカーを打ち込む、隙間部分に金網やワイヤーメッシュの端材を敷くなどして、隙間を塞ぐ。
- 金網柵の上部がたるんでいないか。
(対策) ドライバー等を活用して金網の上部をねじり、たるみをなくす。
- 金網に破損箇所はないか。
(対策) 破損した部分に金網やワイヤーメッシュの端材を重ねて設置する。
- 柵周辺の草が伸びていないか。
(対策) 野生鳥獣の隠れ場所をなくすため、草刈りを行う。

(裏面は、トタン柵、電気柵です。)

トタン柵の点検ポイント

- トタンと地面の間やトタンとトタンの間に隙間ができていないか。

(対策) トタンを重ね合わせて設置し、隙間を塞ぐ。

- トタンに破損箇所はないか。

(対策) 当該箇所のトタンを交換する、またはトタンを重ねて設置する。

- 柵周辺の草が伸びていないか。

(対策) 野生鳥獣の隠れ場所をなくすため、草刈りを行う。

電気柵の点検ポイント

電気柵を張っているときは、常に通電させておくことが重要です！

- 電圧は、4,000ボルト以上あるか。

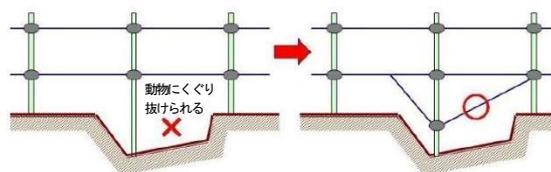
(対策) 電線に雑草などが触れると漏電して電圧が下がるため、定期的に草刈りを行う。

- 電線の高さは適切か。

- ・イノシシ用3段の目安 下から20cm、40cm、60cm
- ・シカ用5段の目安 下から20cm、40cm、60cm、90cm、130cm

(対策) 高さが適切でない場合は、ガイシを動かして電線の高さを調節する。

また、くぼ地がある場合は、支柱やガイシを増やし地形に沿って電線を張る。



- アース棒が正しく設置されているか。

(対策) アース棒は掘って地中に埋めるのが基本。複数ある場合は、幅広く設置する。

- 舗装路から50cm以上離して設置してあるか。

(対策) 動物の足が舗装路にのった状態で電気柵に触れても通電しないので、前足だけでも地面の上にくるように設置位置を調整する。